



こんにちは

村田けい子 です

2016.8.19
No.64

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



8.15 成人式

84人が大人の仲間入りに
—老人福祉センター—

晴れ着で着飾った若者たちで会場は華やいだ雰囲気
に包まれ、立科町の希望を
見る思いでした。

成人式の構成は、選ばれた
実行委員4名によってすす
められました。

担任した先生方からはビデオメッセージが届けられ、

中には在任中の3年間を時系列的にスライドにまとめ、写真とともに紹介し、若者たちに当時の思い出をよみがえらせ、感動を与えました。

彼らと共に過ごした日々を、お忙しいであろうに、きちんと保存し、この日のために構成して届けてくださる。改めて教師の思いを知ったことだと思います。



感心したのはビンゴゲーム。ビンゴのカードが全員に配られ、順次読み上げられる。当たり（ビンゴ!）の人はステージに当たり、名前、現在の状況、将来の夢などを語ることでなっています。

すでに就職した人が多かったのですが、中には学生の人も。「こんな僕でも彼女ができました。」「安定した仕事に就きたい」「夢はありません」という人もいて、気になりました。若者を巡る状況は厳しい。周囲に彼、彼女を理解し、応援してくれる人はいるのだろうか、相談できる大人が居てほしいと思いました。

「今、陸上自衛隊松本駐屯地で迫撃砲の訓練に励んでいます」という人もいて盛んな拍手を浴びていました。戦争法が発動すれば、実際の戦闘に駆り出され、いのちの危険にさらされることもあります。

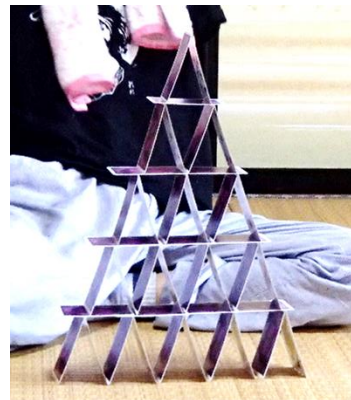
笑顔でスピーチする若者を見ながら、そんな辛い現場には送りたくないと強く思います。



決意を述べる新成人

若者の未来が
平和で輝くもの
になりますように。

残暑よ見舞い
申し上げます



集中力と忍耐力
の賜物

今週のパチリ

お盆に家族が集まった。神名川に暮らす次男は、トランプで作るタワーがお得意。じっと指先に集中して、角度を測り、静かにタワーを積み重ねてゆく。黙々と作業を続ける姿に、「いい子だな」と思う親ばかな私です。完成した5段重ねのタワー。

「核先制不使用に反対」の首相に 被爆者の怒り広がる

しんぶん赤旗8月18日付け

オバマ米大統領が検討している核兵器の先制不使用宣言について安倍晋三首相が「抑止力を弱める」として反対する意向を伝えたことと米紙が報じたことに、被爆地から「被爆者の願いに背くもの」との怒りと批判の声が広がっています。

「今回、日本政府がいかに核抑止力、核の傘に頼っているかが暴露された。被爆国の首相にあるまじき姿勢を、被爆者として許すことはできない」と話すのは、広島県原爆被害者団体協議会の佐久間邦彦理事長です。

オバマ大統領の核先制不使用宣言について、「朝鮮半島などの緊張緩和に役立つ。東北アジアに非核地帯をつくる方向で、核兵器禁止条約をつくろうとの国際的な流れを広げるうえでも役に立つ」と指摘。「唯一の被爆国である日本こそが、そういう立場に立つべきなのに逆だ」として、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことをすべての国に求める「ヒバクシャ国際署名」の大運動に全力を尽くしたいと表明しました。



(写真) 被爆者の願いは「核兵器のない世界」の実現。写真は6日の早朝から原爆碑に手を合わせるひと＝6日、広島市中区

演説と正反対

安倍首相は9日、長崎市主催の平和式典で、「広島および長崎で起こった悲惨な経験を二度とくり返させてはならない」とあいさつをしました。「安倍首相は長崎で演説したことと、やっていることが正反対の“二枚舌”だ」と話すのは、長崎原爆被災者協議会の田中重光副会長(75)です。

今回だけでなく、日本政府が国連総会で肝心の核兵器禁止条約を求める決議に棄権してきたことは、被爆国にあるまじきものと批判する田中さん。次のように結びます。



「被爆国の首相にもかかわらず、今回の安倍首相の行動は、はらわたが煮えくり返るような思いです。“抑止力”で戦争はなくせません。核兵器廃絶こそが被爆者の願いです」

「今回の言明は容認できないし、怒りを表明したい」と語るのは、長崎の被爆3世で、シールズのメンバーだった林田光弘さんです。ヒバクシャ国際署名推進委員会事務局で、核保有国や日本のような核の傘に依存する国々の市民から数億規模で署名を集める活動のキャンペーンリーダーを務めます。

署名で圧力を

林田さんは、「私たち日本の市民社会は、日本政府とは違って、オバマ氏の核兵器先制不使用宣言を歓迎していることを世界に発信する必要があります。ただ、『核兵器のない世界』を口にしたオバマ氏のプラハ演説から考えると先制不使用宣言は、その入り口でしかありません」。今後の抱負を語ります。「私たち市民社会もできることを継続したい。核兵器禁止条約を求める国内世論としてヒバクシャ国際署名を国内で圧倒的な数で集めて世界にアピールし、世界の世論から核の傘にある日本政府に圧力をかけていきたい」

日刊赤旗に載った記事ですが、オバマ大統領が広島を訪れ、平和記念館で原爆の実際の姿に触れたことも、こうした「核兵器先制不使用宣言」につながったのかもしれない。

日本政府の対応には本当にあきれます。核兵器の恐ろしさを身をもって体験し、最近でも核分裂事故の悲惨さを味わったばかりだということに。

いのちを粗末にする安倍政権を退陣させるために、今できることを粘り強く重ねていきましょう。オリンピック選手のように、最後まであきらめないで。土曜日のスタンディング 11:30～再開しています。